

横浜カジノ（賭博場）誘致は撤回し、山下ふ頭は 市民が憩い文化の薫る地域に再整備を望みます

<陳情趣旨>

2019年8月22日林横浜市長は「IRカジノ誘致」を表明し、山下ふ頭をその場所として指定しました。林市長はこれまで「白紙」との態度を繰り返してきました。今回の突然の発表は市民の7～8割が反対しているカジノ誘致の賛否を取らずに一方的に決め発表することなど大きな問題があります。カジノの法案は国会の議論でも「ギャンブル依存症対策」「反社会的勢力の問題」「国内への外国人旅行者はカジノが無くても増えている」「カジノ資金の貸し付け」「外国資本が儲けるだけ」などの意見や疑問に明確な答えもなく、市民は多くの不安や疑問を持っています。

カジノは刑法185条及び186条の処罰の対象とされる「賭博」です、カジノの収益が税金として納められ、社会に還元されることから「処罰」の対象にならないとしています。そもそも人の不幸を元手にした税金を自治体の収益にすることは間違いです。

私たちは、林市長の「IRカジノ誘致」を撤回することを強く要求します。

平和友好都市・港都横浜にカジノ誘致は反対です。私たちは、次のことを横浜市に求めます。

<陳情項目>

- 1 林市長は横浜カジノ（賭博場）誘致を撤回すること。
- 2 山下ふ頭はカジノはやめ市民が憩える文化の薫る地域とすること。

名	前	住	所

〒231-0062 横浜市中区桜木町3-9 平和と労働会館3階

カジノ誘致反対横浜連絡会 電話：080-9747-6721 FAX：045-345-9664

(この署名は横浜市に提出するのみで、他には使用しません)

(取り扱い団体)